



はなのき

神坂小学校だより No.3 2022.5.24



神坂のよさをいかし豊かな心を育むために

校長 高橋 浩之

家庭訪問へのご協力ありがとうございました。本年度は、授業参観が開催できず、保護者の皆様との関わりが少ない中でのスタートでした。しかし、制限はあるものの家庭訪問を行うことができ、学校での様子や家庭での過ごし方について交流することができました。

地域やご家庭でも感じられるように、今年も意欲的に活動する子ども達の姿がたくさんあります。高学年は、自分たちが神坂小学校を引っ張り支えていこうと、今まで培った力をいかしながら様々な場面で活躍してくれています。登下校での下級生を気遣う姿。歩調を合わせたり、何度も様子を見たり、時にトラブルに素早く対応したりと安心安全な登下校を心がけてくれています。4年生は、高学年の仲間入りという意識も高く、お昼の放送では練習を重ね堂々と話す姿や挨拶運動を意欲的に取り組むこともできています。3年生は、下級生のリーダーとして頼もしい姿を見せてくれています。「2階のリーダー」となり、1・2年生の手本になろうと自ら声をかけにいたり、共有するトイレをきれいに使おうと心がけたりしています。そういったやさしい心とがんばろうとする意欲が、昼休みなど運動場で様々な学年で遊ぶ姿につながり、交流を深めています。まさに神坂の宝といえます。



コロナ禍でも工夫をして少しずつ交流を行っています。本校において、外部講師の方々との出会いは貴重な機会となり、そこで得る知識はもちろん、コミュニケーション能力を養い、「生き抜く力」の礎になっています。

あおぞら教室では、4年生が市の職員の方から川の水について実体験をしながら教えていただきます。地域講師の方からは、神坂や馬籠の歴史について6年生が学びます。また、3年生のホタルの飼育や5年生の田植え、1・2年生のサツマイモの苗植えなど、様々な地域団体の方々の力を借りながら、体験と共に人と触れ合う機会を設けています。本来ならたくさん会話し、子どもの好奇心を豊かにする機会ですが、今は少人数の講師の方と触れ合う状況です。しかし、このような様々な自然での体験が、豊かな心を育成すると考え、可能な限り実施していきます。ご協力の程よろしくお願ひします。



<新型コロナウイルス感染症対策の継続について>

学校では、感染拡大防止のために、これまでも様々な取組を行ってきました。子どもの重症化はしにくいという話がありますが、体調などにより症状は人それぞれです。また、子ども達が感染することで、家庭内に広がり、基礎疾患をもたれた人へ感染することも懸念されるところです。引き続き、感染対策を講じながら、少しでも多くの体験活動を行い、豊かな心を育ていけるよう努めてまいります。地域講師の皆様にもご迷惑をおかけしますが、ご協力の程よろしくお願ひします。